

平和憲法こそ命, どう闘う!

●年末16日、総選挙の結果は自民圧勝と出ました。私たちの運動の基盤である「平和憲法」は、最大の危機を迎えました。安倍政権誕生の最大の功労者は野田前首相。マニフェストを片端から反故にし、原発再稼働、消費税増税で大量の離党者を出しながら、解散・総選挙に踏み切りました。まさに「自爆テロ解散」と言われている通りだと思います。

自爆したのは民主党ですが、その「テロ」に巻き込まれて大きな打撃を受けたのは民主主義であり、そして平和憲法が重大な危機に瀕しています。

ぼかされた争点!

●選挙後に、「自民党勝利の理由」を問うたマスコミの調査に示された答えは、「自民党の政策支持」が7%でしかなかったのに対して「民主党に失望」がなんと81%でした。大衆は「自らの要求」の為ではなく、「失望」を表明するために投票場に足を運んだと評されています。メディアは争点をぼかしました。最大の争点は「原発」であったはずですが。

●地震列島に54基もの原発を作ってきた自民党政治の責任が殆ど問われないまま、選挙の争点からはずされました。

さらに、不況・リストラ・非正規雇用・賃金低下など社会の閉塞感の中、実態は自民の右を行くウルトラ右翼である「維新」が、まるで既得権益勢力に立ち向かう「第3極」に仕立て上げられました。

●消費税増税も重大な争点でしたが、それに賛成した「自公民」中心の選挙報道で、その是非は不問にされ、増税反対の未来、共産、社民などの主張は報道されませんでした。

一方では、脱原発票の結集阻害を意識して、新しく発足した「未来」に対しては、卒原発・消費税反対などの政策より、「小沢の隠れ蓑」という攻撃が執拗に繰り返されたと思います。

小選挙区制の悪!



●比例区の得票率は自民27.6%でしかありません。前回比わずか1%伸びただけで、議席数は前回119

のおよそ2.5倍、294となり衆議院議席占有率60%超え。小選挙区制がいかにかに民主主義に反しているか!

憲法をめぐる問題については、公明党より維新の方がはるかに自民党に近いことは明らかです。改憲にあまり積極的でない公明への圧力となる事は間違いなく、自民はこれを最大限利用しようとするでしょう。

領土問題 労働者の武装解除狙い!

●安倍政権の改憲・国防軍・集団的自衛権などへの踏み込みは、歴史認識問題、領土問題などの外交政策と一体となって進められるでしょう。政権が領土問題に固執するということは、その刃を自国の労働者に向けていることだという事を、きちんと把握しましょう。他国に対する領土的攻撃は、自国の労働者の思想的武装解除を狙っている事だと思います。

「お国の為」と踊らされ、人々は心の発信を閉ざされ、監視と弾圧の中、戦争に突き進み、大本営発表に蹂躪された事を思い起こします。

私たちには、いま、いかに大衆闘争を強化・拡大するのか、いかに憲法を守る闘いを作り上げて行くのかを、問われ、突きつけられています!!

●原発については、全国に取り組みの一定のひろがりが出てきています。これを更に足腰の強いものにし、沖縄の闘いとも連携を強めて行くことも大切だと思います。



10/13 日比谷
6500人集会

10/14朝日



東京 4000人集会

写真・琉球新報より

●沖縄については、2月5日の朝日夕刊に作家の池澤夏樹さんが書いています。「1月27日、沖縄の41の市町村ぜんぶから首長、議長、県議140人が上京して、オスプレイ配備の撤回と普天間基地の県内移転反対を訴えた。(上・写真)…しかし彼らの声は届かない。国、ならびに1都1道2府42県、また本土のメディアの多くはこれを完全に無視している。…」と。

●私たちは話し合い、考え、動き、前進しましょう!! どんなんに小さなことでも、可能な限りの力を注いで取り組み、それを発信して行きましょう!!